

週報

2024年度 教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

<先週の説教から>

『ルカ⑩ — でこぼこの道を平らにする者』 武田真治牧師
イザヤ書 40:3~5 ルカ福音書 3:1-9

イエス様は30歳を過ぎるまで、育てられたナザレの町で過ごされました。それは両親に仕え、家族を扶養し、地域の交わりの中で生きることで、私たちと同じように、一人の人間として成長される段階で出会う様々な経験を、自ら体験されたと言います。それ故、私たちの問題や課題、悩みや生き苦しきさについても分かってくさるのです。ただ、そのもう一つの理由としては、洗礼者ヨハネが世に出るまで待たれて居られたとも言えるのです。今日の箇所はまさにそのヨハネが宣教を始めたことが記されています。

その時について、先ず「皇帝ティベリウスの治世の第十五年」と記されています。この人物がローマ皇帝に就いたのはAD14年なので、この年を1年目と数えると15年目はAD28年になります。この時代、ローマがこの地域を一時的に支配していましたが(=ローマ総督としてピラトが兼任していた)、一方で昔からの支配者ヘロデ王が地域の行政全般を担っていました。その両方の名前が記されています。また、本来は一人の大祭司がその生涯の終わりまで務め、逝去したら新しい大祭司が任命されるはずなのに、当時は二人の大祭司(=アンナスとカイアファ)がいたと2節にあります。これはつまり、政治的にも宗教的にも分裂・混乱していた時代だからこそ、いよいよヨハネが「ヨルダン川に行って、罪の赦しを得させるために悔い改めの洗礼を宣べ伝えた」時が来たのだと読者に伝えたいのでしょう。

ここでの“洗礼”は、当時行われていた“清めのための洗いの儀式”の延長上にあるもので、イエス様やその後の教会での《洗礼》とは異なっています。例えば、ヨハネの洗礼は何度も受けることが出来ますが、私たちの《洗礼》は一回限りだという点などです。ただ、ヨハネが宣べ伝えた“洗礼”の素晴らしさと特別性は、神殿や会堂ではなく「ヨルダン川で」洗礼を受けるように人々を招いた点です。これは①荒野や自然の只中でこそ神様と出会える、②わざわざヨルダン川に出

て行く”悔い改め“を求める強さ、③そこに行けば”誰でも“洗礼を受けられたという3つの点です。特に最後の③の意味は、後にイエス様がこの“洗礼”の儀式を受け入れられた大きな理由になったと言い得るのです。

それまでのユダヤ教の信仰は、おもに成人男性を対象としていました。エルサレム神殿の境内の中心には異邦人や女性や子どもたちは入ることが許されませんでした。しかし、自らの“罪を悔い改め”“罪の赦し”を心から求める人なら、すべての人に与えられるのが“ヨハネの洗礼”であり、更に“新しい生命と聖霊”が加えて授けられるのが私たちの《洗礼》です。それはまさに今日の箇所の「人は皆、神の救いを仰ぎ見る」というイザヤの預言が成就した出来事なのです。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 8月28日(水) 20:00

II. 8月29日(木) 10:30

聖書研究:ローマ書(夜)・ハイデルベルク(朝)

祈祷主題: シャロームの会を覚えて

担当者: (水) ジョン (木) 山田

祈りに覚える人: 岡田さん 岡野さん

【教勢報告】

主日礼拝 男14 女46 計60

祈祷会 I. 男2 女2 計4

II. 男1 女5 計6

日曜学校 幼稚科4 小中科5 計9

【次週主日礼拝】 9月 1日(日)

聖書: 詩編 33:12~22

ルカによる福音書 3:7~14

説教: 「ルカ⑩—神様はこんな石ころからでも」

武田真治牧師

讃美歌: 169(1)、32、505、290、461、

【次週当番表】 81(1と2)、83(1)

司式: 齋藤長老 奏楽: 勝村 礼拝: 保坂長老

配餐: 相浦 茨木 保坂 金刺 各長老

献金: 関根 曾我 受付: 西尾 森本

会堂準備: 浅井 阿部 齋藤 山田

看板: 保坂 週報: 岩佐 お花: 森本

【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後: ・お茶の会 牧師と語る会

・会堂管理委員会 ・長老会 ・9月誕生祝福

2024年 8月 25日

日本キリスト教団 上尾合同教会
牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>